

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
平成29年度契約監視委員会（第3回）議事録

1. 日 時 平成29年12月7日（木） 13:30～15:30
2. 場 所 農研機構 特別会議室
3. 出席者 木村委員長、小林（保）委員、高橋委員、伊東委員
小林（一）委員、平田委員、小林（栄）委員

4. 議 題

（1）農研機構からの報告・提案

- ① 前回委員会での要請に対する報告
- ② 随意契約、一者応札・応募の点検数量について

（2）平成29年度第2四半期に実施した契約案件の点検

- ① 競争性のない随意契約（10件）（平成29年7月～平成29年9月）
- ② 一者応札・応募案件（81件）（平成29年7月～平成29年9月）

（3）その他

5. 議事概要

上記議題について事務局からの説明後、点検が行われた。主な内容は以下の通りであった。

（1）農研機構からの報告・提案

- ① 前回委員会での要請に対する報告
・特になしの旨報告した。

（2）平成29年度第2四半期に実施した契約案件の点検

① 競争性のない随意契約

・競争性のない随意契約について点検が行われ、機器の試作における「競争性のない随意契約によらざるを得ない事由」について、特許等の権利関係や共同研究における業務分担等により契約相手方が特定される場合は、随意契約の妥当性を明確に記載するよう要請があった。

② 一者応札・応募案件

・一者応札・一者応募に関して入札方法、不参加者へのアンケート調査、予定価格の積算などに関し点検が行われた。

点検の結果、入札参加要件を設定する際は、設定根拠等をよく検討した上で設定するよう要請があった。

また、予定価格の作成に関し、業者への納入実績の確認の結果、実績が無い場合は、その旨を記載した証明書を徴収しておくべきとの意見があった。

そのほか、契約の点検・見直し項目については、全ての案件について改善内容を記載するよう要請があった。

③ 随意契約新規案件の事後報告

・事後報告3件の競争性のない随意契約について点検が行われた。

点検の結果、今後一般競争に付すべきとの意見はなかった。

以 上